

公表: 令和5年3月 日

事業所名 スクエア

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			機能訓練室を区切り、学習・座学スペースを確保した。	メリハリのある場を作ること はできたが、範囲が小規模 なため、同時に取り組む人 数によっては場所が足りな くなる。また、気軽に体を動 かせる場が減ってしまった。 時間の使い方や今あるス ペースのよりよい使い方 が、今後の課題。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2		お子様の状況により、 できるだけ多くのス タッフを配置し、安心 して過ごせるよう心掛 けている。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	1		既存の設備上、やむを得ない 段差や柱が発生してい る。怪我や事故に繋がるこ とがないよう、十分に配慮し ていきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			月に一度の支援会議 のみならず、必要に応 じて、打ち合わせを 行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者の方々や周り からのご意見を大切 に、日々、業務改善に 努めている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	5	第三者による外部評 価は行っていないが、 「第三者から見てどう 感じるか」というこ とを、日頃より意識す ることを心がけている。	必要に応じて、第三者によ る外部評価を行っていく必 要がある。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7				
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7					
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		3	他機関にて実施され るアセスメントツ ールを用いた検査を参 考にしながら、聞き取り や行動観察による分 析を行っている。		
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7					

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	6		1日の流れ、個々や集団による取り組み、スタッフの役割分担などの設定はしている。	実践してみて、足りないと感じる部分が時折ある。都度振り返りや課題共有をし、よりよい支援を提供できるように心がけている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	5		おもに終礼が中心となるが、重要事項、引継ぎ等、状況に応じた打ち合わせを行い、共有している。	

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	2			地域交流に関しては、思うように取り組めていない現状がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2			場合により、スムーズな連絡調整や情報共有が行えない時がある。
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1		現在、必要とするお子様はいないが、必要に応じて連絡体制を整える予定。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		担当者会議等への出席やモニタリング結果を共有することで、情報共有や相互理解に努めている。	
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4			自ら共有することはできていない。今後の課題だと感じる。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1		
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	3		取り組めていない現状がある。今後、機会を作っていきたい。
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	1	できる限り参加し、他事業所との情報交換や繋がりを広げているよう努めている。	参加できていないスタッフもいる。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6	1		ペアレントトレーニングに関する知識を深め、実践していきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	4			知識を深め、より適切かつ必要な助言や支援を行えるようにしていきたい。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1		感染症の流行により実施できなかったが、今後、積極的にサポートしていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	1			
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5		取り組めていない現状がある。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	6			保護者の方より、医師からの伝達事項や対応方法を聞き取り、対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。